



第95期

中間事業報告書

平成15年4月1日▶平成15年9月30日



株式会社 サンエー化研

(証券コード:4234)

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社事業に格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第95期上期（平成15年4月1日～平成15年9月30日）の中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧戴きますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成15年12月
代表取締役社長 山田 次夫

1. 当上期の概況

当上期におけるわが国経済は、デフレ環境からの完全脱却をなし得ぬままの状況のなかにあつて、企業の収益改善、設備投資の持ち直しなど、景況感に改善がみられ、一部において明るさも出てまいりました。また、イラク戦争の終結と中国を発症地としたSARS問題も一旦終息したことにより、鈍化傾向にあった輸出環境もわずかに好転の兆しがみられました。

一方、個人消費は、今夏の異常天候の影響も加わり、依然低迷をするなど景気は一進一退で推移いたしました。

このような状況のなかにあつて当業界は、全体的な需要の低迷により、価格は下落し、企業間競争は、さらに激化いたしました。

当社グループ（当社および関係会社）におきましては、期首に掲げた課題の達成に向け、全社一丸となり取り組みましたが、部門別業績において、景気動向に大きく影響を受けた部門と少ない部門とに格差が生じてまいりました。

その結果、当上期における単体での業績は、売上高128億7百万円（前年同期比2.3%減）、経常利益5億52百万円（前年同期比1.5%減）、中間純利益は3億11百万円（前年同期比6.9%増）と、ほぼ前年同期に並ぶ結果となりました。

また、連結ベースでは売上高146億38百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益5億89百万円（前年同期比8.7%減）、中間純利益3億40百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

次に当上半期の単体における部門別の売上高と営業概況についてご報告いたします。

部門別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装部門	5,536百万円	43.2%	86.9%
産業資材部門	3,787百万円	29.6%	99.6%
機能性材料部門	3,079百万円	24.1%	133.8%
その他	403百万円	3.1%	64.2%
合計	12,807百万円	100.0%	97.7%

(軽包装部門)

軽包装部門におきましては、長引く景気低迷と、安価攻勢が引き続くなか、今年は冷夏にも強く影響され消費も今一步伸び悩み、苦戦を強いられました。

特に食品用包装材の動きが悪く、飲料関係やフルーツゼリー、玉子豆腐などに使用されるイージーオープン用包装材「サンシール」をはじめ、貼り合わせ包装材は大変痛手を受けました。

このような状況のなかにあって、電子レンジ用包装材「レンジDo!」は、レトルトカレーや、冷凍食品用として大手メーカーの新規銘柄に採用され順調な伸びを示しました。

その結果、数量では前年同期比15.0%減、売上高55億36百万円で前年同期比13.1%減と大幅な減となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門におきましては、市場は飽和状態の様相が続き、海外からの安価品の流入もあり、厳しいシェア争いが展開されました。新規開発品も多くはコストダウン絡みのものであり、技術面でも合理化による利益率の向上など、採算性との厳しい戦いを進めてまいりました。

その結果、数量では前年同期比4.6%増、売上高は37億87百万円で前年同期比0.4%減とほぼ横這いとなりました。

(機能性材料部門)

機能性材料部門におきましては、LCD(液晶表示装置)関連業界の活況に乗り、「PAC」、「SAT」が期首よりフル生産を続けてまいりました。特に、「SAT」は改良を重ね、その技術内容が評価されたことにより、拡販へと繋がりました。また、「PAC」は偏光板用途を中心に旺盛な需要があり、売上に寄与することができました。感圧タイプ保護フィルム「サニテクト」につきましても、自動車用途、鋼板用途など全般的に量的な拡大が得られ安定した業績を残すことができました。

その結果、数量で前年同期比22.5%増、売上高は30億79百万円で前年同期比33.8%増と大幅な伸びを達成することができました。

2. 当期の見通し

下期の見通しにつきましては、日本経済は、緩やかながらも回復基調にあるとの予測がなされているものの、長期にわたる景気低迷や金融不安などを背景に実体経済は、雇用や所得に対する不安感を残しており、個人消費の急速な改善は期待できず、全般的には厳しい状況が続くものと思われま

す。こうした環境を踏まえ、当社は、期首に掲げた第二次プロジェクトを強力に推進し、成果を確実なものとするべく努めてまいります。

ひとつに、投資効率の高い成長分野事業への重点投資として、PAC製造の新鋭機が今年末には増設され稼動いたします。また、従来から特化した製品として、拡販を続けているエア緩衝材「エアロテクト・エアロテクター」は梱包用緩衝材として、空気充填から梱包までを自動化する装置を開発したことにより、販路を拡げることができました。

これにより、通期の見通しにつきましては、単体ベースでは、売上高264億31百万円(前期比3.8%増)、経常利益10億3百万円(前期比15.6%増)、当期純利益5億32百万円(前期比24.3%増)が予想されます。

また、連結ベースでは、連結売上高305億40百万円(前期比4.5%増)、連結経常利益11億42百万円(前期比11.3%増)、連結当期純利益6億5百万円(前期比16.1%増)を見込んでおります。

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)
資産の部		
現金及び預金	3,995,207	3,324,923
受取手形及び売掛金	10,048,613	10,010,491
たな卸資産	3,115,699	3,289,292
その他	303,303	257,972
貸倒引当金	△58,221	△56,339
流動資産合計	17,404,602	16,826,341
建物及び構築物	1,990,196	2,017,251
機械装置及び運搬具	3,232,984	3,204,718
土地	801,614	801,614
建設仮勘定	450,676	482,692
その他	65,779	72,528
有形固定資産合計	6,541,251	6,578,804
無形固定資産合計	26,349	40,402
投資有価証券	2,512,079	2,214,542
長期貸付金	27,016	29,925
その他	774,786	723,211
貸倒引当金	△184,437	△179,799
投資その他の資産合計	3,129,445	2,787,881
固定資産合計	9,697,047	9,407,088
資産合計	27,101,649	26,233,430

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	5,801,072	5,792,359
短期借入金	3,371,000	3,721,000
一年以内償還予定社債	20,000	20,000
一年以内返済予定長期借入金	350,274	332,464
未払金	603,668	483,271
未払法人税等	338,283	222,325
賞与引当金	447,963	436,179
その他	442,991	299,602
流動負債合計	11,375,254	11,307,202
社債	300,000	320,000
長期借入金	904,968	589,242
退職給付引当金	1,018,278	910,842
役員退職慰労引当金	187,302	146,410
連結調整勘定	125,195	187,792
その他	87,836	62,509
固定負債合計	2,623,581	2,216,797
負債合計	13,998,835	13,524,000
少数株主持分	117,868	116,920
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,530,432	9,203,428
その他有価証券評価差額金	383,004	278,842
自己株式	△50,052	△11,321
資本合計	12,984,945	12,592,509
負債、少数株主持分及び資本合計	27,101,649	26,233,430

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)
売上高	14,638,218	15,021,872
売上原価	12,596,367	12,941,420
売上総利益	2,041,851	2,080,451
販売費及び一般管理費	1,502,137	1,446,785
営業利益	539,713	633,665
営業外収益	86,869	66,034
受取利息	833	1,583
受取配当金	35,866	20,418
連結調整勘定償却額	31,298	31,298
その他	18,870	12,733
営業外費用	36,620	53,683
支払利息	30,347	33,868
その他	6,273	19,814
経常利益	589,961	646,017
特別利益	—	22,703
投資有価証券売却益	—	22,703
特別損失	15,687	56,281
会員権評価損	8,150	34,425
固定資産除却損	7,537	1,284
投資有価証券評価損	—	20,571
税金等調整前中間純利益	574,274	612,439
法人税、住民税及び事業税	232,723	253,908
少数株主利益（控除）	1,364	5,073
中間純利益	340,185	353,458

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	1,522,559	1,522,559
資本剰余金中間期末残高	1,522,559	1,522,559
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	9,299,758	8,968,872
利益剰余金増加高	340,185	353,458
中間純利益	340,185	353,458
利益剰余金減少高	109,511	118,902
配当金	72,111	72,152
役員賞与	37,400	46,750
利益剰余金中間期末残高	9,530,432	9,203,428

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	912,907	859,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,763	△266,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,199	△260,949
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	239,944	332,082
現金及び現金同等物の期首残高	3,755,857	2,993,434
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,995,801	3,325,517

単体財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)
資産の部		
現金及び預金	3,822,920	3,113,263
受取手形	4,250,640	4,229,689
売掛金	4,761,151	4,796,101
たな卸資産	2,784,279	3,007,174
その他	252,883	213,682
貸倒引当金	△55,116	△53,398
流動資産合計	15,816,759	15,306,512
建物	1,632,661	1,658,702
機械装置	2,744,804	2,814,713
土地	351,049	351,049
その他	655,578	666,197
有形固定資産合計	5,384,094	5,490,663
無形固定資産合計	23,253	34,732
投資有価証券	2,449,226	2,169,418
関係会社株式	652,500	634,500
その他	764,733	694,064
貸倒引当金	△184,424	△179,782
投資その他の資産合計	3,682,035	3,318,200
固定資産合計	9,089,382	8,843,596
資産合計	24,906,141	24,150,108

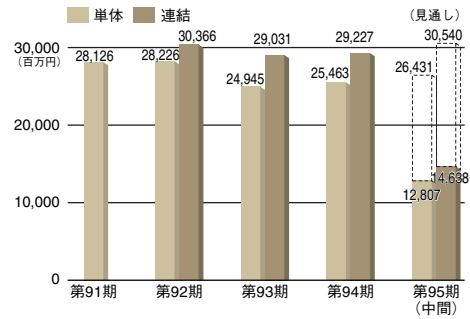
科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)
負債の部		
支払手形	3,381,902	3,818,213
買掛金	1,828,106	1,371,489
短期借入金	3,001,000	3,301,000
未払金	554,103	434,389
未払法人税等	318,080	170,591
賞与引当金	380,000	360,000
その他	713,021	535,930
流動負債合計	10,176,214	9,991,613
社債	300,000	320,000
長期借入金	690,968	589,242
退職給付引当金	854,592	750,276
役員退職慰労引当金	154,390	120,710
その他	50,662	20,257
固定負債合計	2,050,612	1,800,486
負債合計	12,226,827	11,792,100
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本剰余金	1,522,559	1,522,559
利益剰余金	9,227,400	8,955,054
その他有価証券評価差額金	380,406	292,715
自己株式	△50,052	△11,321
資本合計	12,679,314	12,358,008
負債・資本合計	24,906,141	24,150,108

中間損益計算書

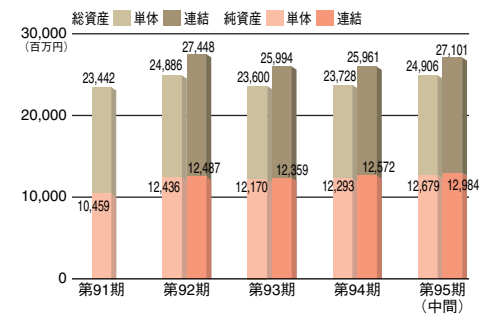
(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成15年4月1日～ 平成15年9月30日)	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)
売上高	12,807,810	13,104,074
売上原価	10,979,319	11,304,399
売上総利益	1,828,490	1,799,674
販売費及び一般管理費	1,311,713	1,237,067
営業利益	516,777	562,607
営業外収益	68,668	47,177
受取利息	548	824
受取配当金	50,236	33,530
その他	17,882	12,822
営業外費用	33,201	49,133
支払利息	25,458	27,731
その他	7,742	21,402
経常利益	552,244	560,651
特別損失	15,123	49,736
固定資産除却損	6,973	1,181
投資有価証券評価損	—	14,129
会員権評価損	8,150	34,425
税引前中間純利益	537,121	510,915
法人税、住民税及び事業税	226,115	220,017
中間純利益	311,005	290,897
前期繰越利益	190,411	138,173
中間未処分利益	501,417	429,071

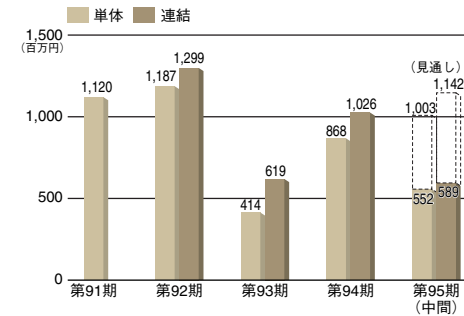
●売上高



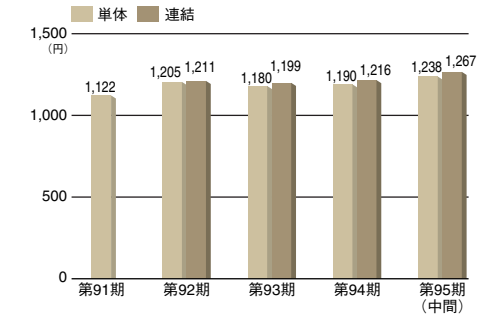
●総資産・純資産



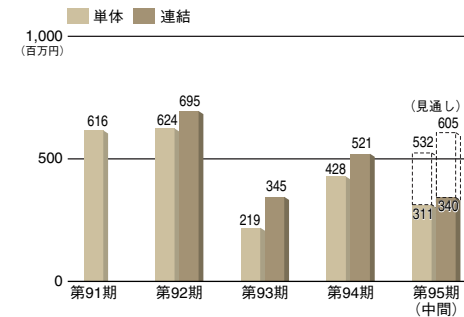
●経常利益



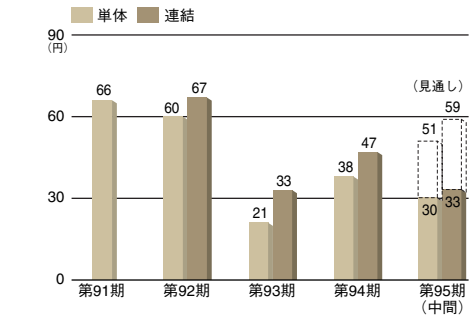
●1株当たり純資産額



●当期 (中間) 純利益



●1株当たり当期 (中間) 純利益



Topics

FPD International 2003 への出展

—DISPLAYING THE FUTURE—

《感動の場を、いつでも どこでも》をテーマに

“液晶、PDP、有機EL、電子ペーパーなど、薄型ディスプレイ (FPD) の総合展示会＋セミナー”が、2003年10月29日～31日 会場パシフィコ横浜で開催されました。

当社は機能性材料部門の代表的製品であるPAC (感熱タイプ保護フィルム)、サニテクト (感圧タイプ保護フィルム)、SAT (精密塗工粘着タイプフィルム) などを中心に展示し、国内外の関係者の注目を集めました。



注 PDP (プラズマ・ディスプレイ・パネル)

FPD (フラット・パネル・ディスプレイ)

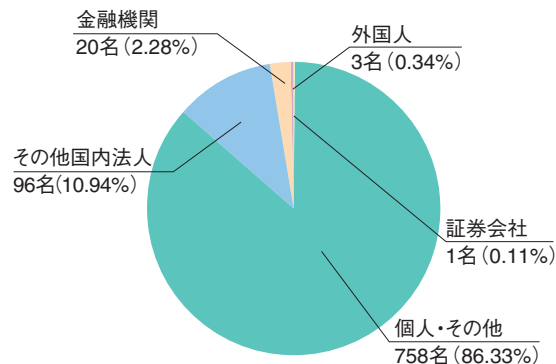
■株式の状況

- 会社が発行する株式の総数……………24,000,000株
- 発行済株式の総数……………10,320,000株
- 株主数……………878名

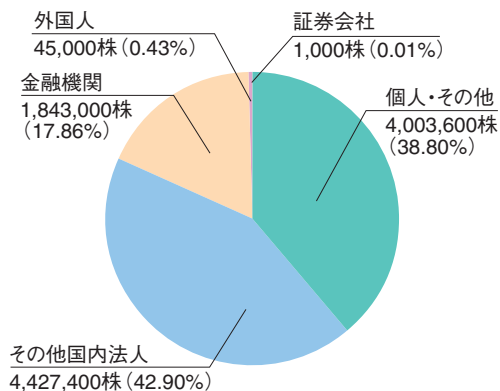
■大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社岡本	1,807	17.76
昭和パックス株式会社	1,244	12.23
サンエー化研社員持株会	465	4.57
みずほ信託退職給付信託昭和パックス口 再信託受託者資産管理サービス信託	300	2.95
日本マスタートラスト信託銀行(株) 退職給付信託口昭和パックス(株)口	300	2.95
ニチメン株式会社	227	2.23
株式会社東京三菱銀行	200	1.97
株式会社みずほ銀行	200	1.97
株式会社UFJ銀行	150	1.47
鈴木靖子	141	1.39

■所有者別株主数



■所有者別株式数



■概要

商号 株式会社サンエー化研
本社所在地 東京都千代田区神田淡路町2-23-1
設立 昭和17年9月
資本金 15億99百万円
従業員数 456名
主な事業内容 紙、プラスチック、金属箔等を主原料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

■役員

代表取締役社長	山田 次 夫
専務取締役	杉本 開 路
専務取締役	亀山 光 三
専務取締役	家島 裕 嵩
常務取締役	池野 勝 之
取締役	鷺野 喜 八 郎
取締役	角田 幸 保
取締役	葛野 正
取締役	林 喜 久 雄
常勤監査役	宮城 康 郎
監査役	渡邊 薫
監査役	岡本 知 久



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
配当金支払い株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
基準日	3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日
1単元の株式の数	1,000株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号(〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号(〒171-8508)
電話お問い合わせ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696(フリーダイヤル) 自動音声応答サービス0120-86-4490
	〔住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。〕
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
单元未満株式買取り請求所	名義書換代理人の事務取扱所および同取次所

(お知らせ)

平成15年4月1日施行の商法改正により「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

株式会社 サンエー化研 Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都千代田区神田淡路町2-23-1
TEL.03-3258-3110 FAX.03-3258-3108

<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>